

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 3月

事業所名 デイサービス まりも

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者人数が多い場合は、活動に合わせたスペースを確保するため学習スペースやプレイスペースの住み分けをするなど、有効に使用できるように工夫している。	デットスペースを有効活用して適切なスペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切である	○		利用人数やイベント内容に応じて増員をしています。	配置基準は適切であるが、引き続き求人活動を行うとともに、職場環境等をより良い環境にし、人員の確保に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			別紙記載
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		最低週に1回、全体でのミーティングを実施。	別紙記載
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート集計後、職員で改善に向けての話し合いを行なっております。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に参加したり、事業所内では最低月に1回、全体での研修を実施しております。	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の記録や保護者様との面談などに基づいて課題を決めております。	別紙記載
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを利用し、子供たちの状況把握を行っております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間スケジュール・月次案を基に定期的に話し合う場を設けております。	季節の行事やイベントをさらに取り入れて、より多くの意見を取り入れていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ミーティングにて意見を出す場を設けております。	別紙記載
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		スケジュールを変化させメリハリのある支援をしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動や集団活動は、利用者様に合わせた計画を立てております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間で声を掛け合い共有しております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後に活動内容の振り返りや、子供の様子・送迎時の保護者様からの伝達等の情報共有を行っております。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の活動内容を記録し改善の参考にしております。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の記録や保護者様との面談などに基づいて見直しをしております。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自立支援や日常生活に当てはめる事が出来る活動を取り入れております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			別紙記載
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に教員とその日の子供の様子の情報交換を行っている。 必要に応じて面談を実施。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	該当児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		関係機関と連絡を取り必要に応じて担当者会議を開催し、情報の共有を行っております。	新型コロナウイルス感染予防の観点から、外部との交流機会を調整していたが、収束の目途が付いてきたので積極的に取り組んでいくことを検討している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の公園などで交流をしております。	別紙記載
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		SNS等を用いて積極的に参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		写真や連絡帳等で児童の状況をお伝えしております	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		来所或いは訪問の上、傾聴と相談を図る。担当者会議の開催、可能な福祉支援の提供と相談をする。		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしております。		
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話や口頭だけでなく、LINEやメールを使うことで話しやすい環境づくりを行っています。	別紙記載
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	24.25項と同様	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		管理者又は責任者が迅速に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやおたよりにより実施している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		利用者様、職員共に個人情報同意書に同意をしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	24.25項と同様	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	○	各種マニュアルを作成しており、定期的に内容の確認・見直しをして更新をしています。	保護者様への周知は不十分のため、今後周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に1回消防員の指導の下、避難訓練を実施していたが、新型コロナウイルス感染予防の観点からできていない。	別紙記載
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月ではないが、府が開催する講習会等に参加し職員全体での共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		定期的に保護者様にアレルギーについて確認をしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書に記入し事業所内で共有、事後の改善に繋げている	